

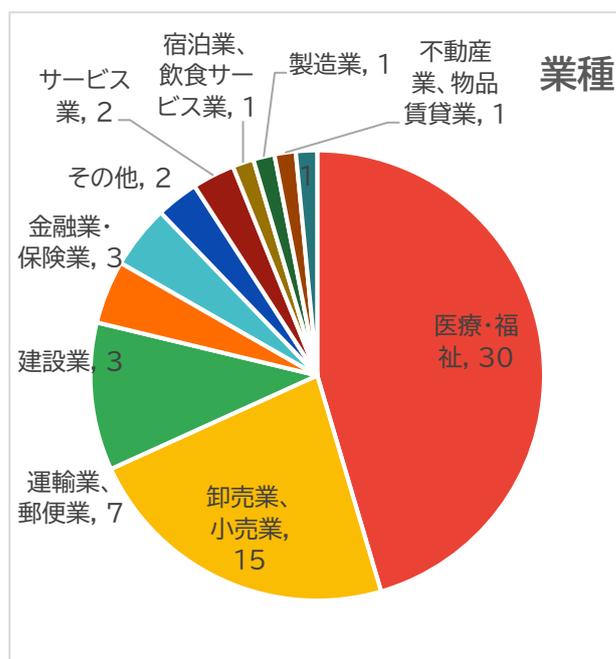
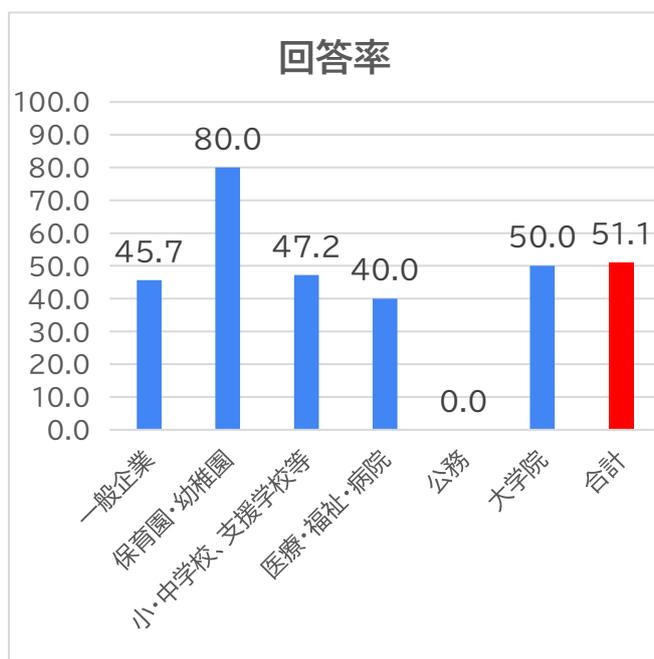
雇用先アンケート集計

2021年11月

- ①対象卒業生 2020年3月卒業生名の就職先が対象。
重複雇用先を除いた、129社にアンケートを実施。
- ②アンケート投函日 2021年8月10日
- ③アンケート締切日 2021年9月30日

発送先	2019年度		2020年度		2021年度		前年度比較 回答率(P)
	回答数/有効配達	回答率 (%)	回答数/有効配達	回答率 (%)	回答数/発送件数	回答率 (%)	
一般企業	12/57	21.1	15/47	31.9	21/46	45.7	↑13.8
保育園・幼稚園	14/25	56.0	16/33	48.5	20/25	80.0	↑31.5
小・中学校、 支援学校 等	8/21	38.1	15/35	42.9	17/36	47.2	↑4.3
医療・福祉・病院	6/14	42.9	10/21	47.6	6/15	40.0	↓7.6
公務	0/2	—	0/2	—	0/3	—	—
大学院	0/4	—	0/9	—	4/2	50.0	↑50.0
計	40/123	32.5	56/147	38.1	66/129	51.1	↑13.0

*回答欄に会社名が明記されていない7先のアンケートは、内容により判断し下記に区分け。
(一般企業 1、保育園・幼稚園 2、小・中学校 1、医療・福祉・病院 3)



Q5 以降の質問の身につけるべき能力の点数は

- 5 身につけている
 - 4 概ね身につけている
 - 3 少しは身につけている
 - 2 あまり身につけていない
 - 1 身につけていない
 - 0 わからない
- で回答を依頼している。

Q5 本学学生が卒業時に身につけるべき能力

身につけるべき能力・・・キャリア・イングリッシュ専攻卒業生	
1	国際社会や実務で通用する英語運用能力(読む・書く・聞く・話す)を修得し活用できる
2	グローバルで幅広い視野と深い教養を身につけ、異文化社会の多様性を理解できる
3	IT 技術、情報リテラシーやビジネスに関する知識・倫理観、社会人としてのコミュニケーション力を身につけている
4	自己の意見や考えを積極的且つ適切に他者に対して発言・発信できる
5	卒業研究を通して、自ら課題を分析し、解決・結論に導く方策を構築できる

身につけるべき能力・・・保育コース卒業生	
1	保育・幼児教育の考え方や理論について、自分の言葉で説明できる
2	保育・幼児教育のさまざまな研究法や技法について、実践を通して理解できる
3	保育・幼児教育の専門的知識を身につけ、現場等で活用できる
4	他者との協働的・実践的な学びを通して、対応力・判断力を高め、適切に活用し問題解決を行うことができる
5	多様な他者を理解し、他者と共生する社会の形成に向けて、社会の動向に関心を持ち、乳幼児理解の視点を活かしてアプローチすることができる
6	保育・幼児教育に関する卒業研究を通して、自らテーマを設定し、適切な方法で研究を進め、分析し結果を整理して考察をまとめることができる

身につけるべき能力・・・児童教育コース卒業生	
1	教育学や子ども学、教科内容や教科教育学の考え方や理論について、自分の言葉で説明できる
2	教育学や子ども学、教科内容や教科教育学のさまざまな研究法や技法について、実践を通して理解できる
3	教育学や子ども学、教科内容や教科教育学の専門的知識を身につけ、現場等で活用できる
4	小学校等での実習や様々なボランティア活動における協働的・実践的な学びを通して、対応力・判断力を高め、適切に活用し問題解決を行うことができる
5	多様な他者を理解し、他者と共生する社会の形成に向けて、社会の動向に関心を持ち、教育者としての視点を活かしてアプローチすることができる
6	教育学や子ども学、教科内容や教科教育学に関する卒業研究を通して、自らテーマを設定し、適切な方法で研究を進め、分析し、結果を整理して考察をまとめることができる

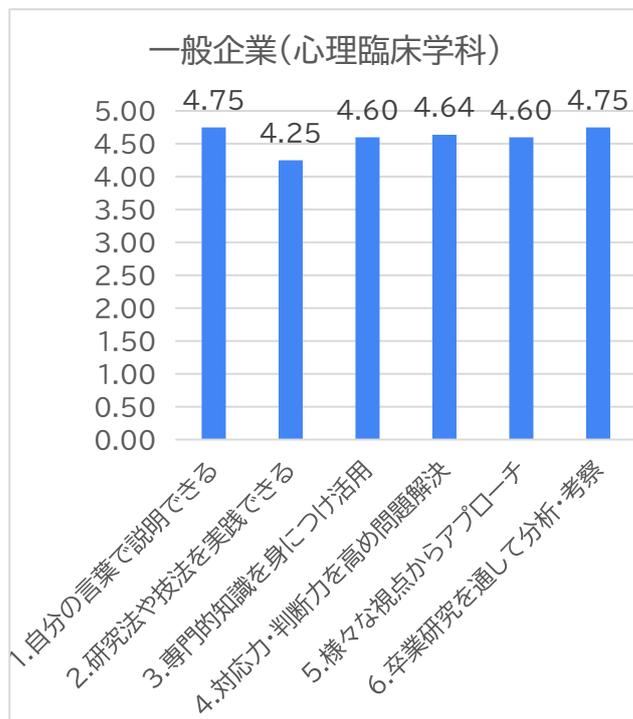
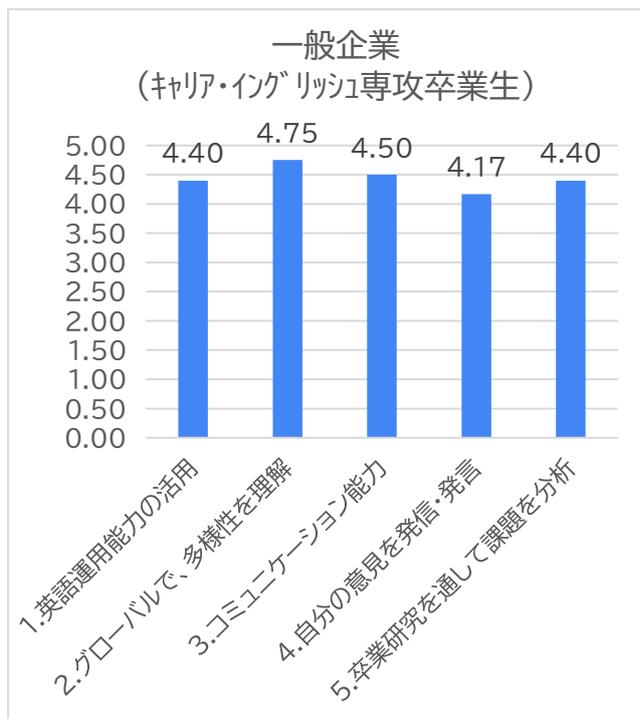
身につけるべき能力・・・心理臨床学科卒業生	
1	心理学、特別支援教育、精神保健福祉の考え方や理論について、自分の言葉で説明できる
2	心理学、特別支援教育、精神保健福祉のさまざまな研究法や技法について、実践を通して理解できる
3	心理学、特別支援教育、精神保健福祉の専門的知識を身につけ、現場で活用できる
4	心理学、特別支援教育、精神保健福祉の協働的・実践的な学びを通して、対応力・判断力を高め、適切に活用し問題解決を行うことができる
5	多様な他者を理解し、他者と共生する社会の形成に向けて、社会の動向に関心を持ち、心理学、特別支援教育、精神保健福祉の視点を活かしてアプローチすることができる
6	心理学、特別支援教育、精神保健福祉に関する卒業研究を通して、自らテーマを設定し、適切な方法で研究を進め、分析し、結果を整理して考察をまとめることができる

(1)【一般企業】

勤務する本学卒業生数(キャリア・イングリッシュ専攻、心理臨床学科)

0名…1社 1~4名…14社 5~10名…4社 11~19名…1社

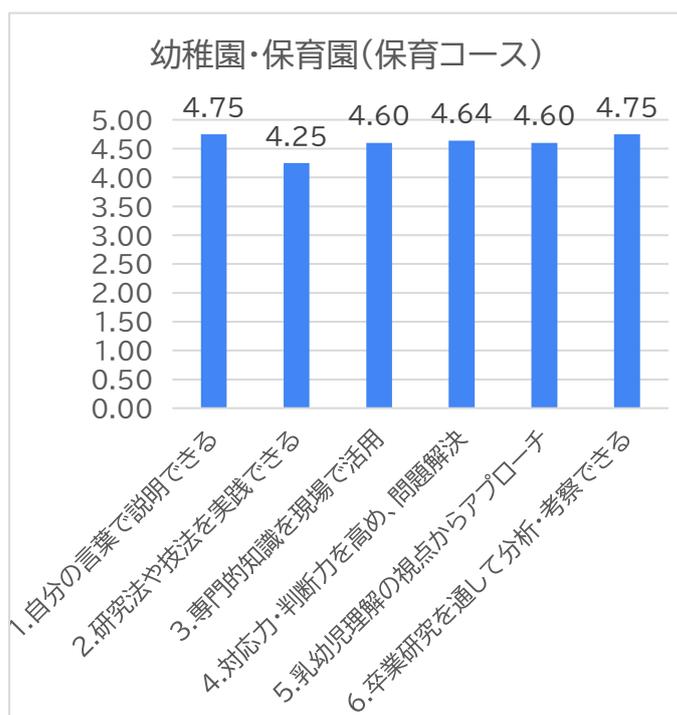
把握していない…1社 合計 21社



(2)【幼稚園・保育園】

勤務する本学卒業生数(保育コース)

0名…1園 1~4名…17園 5~10名…2園 合計 20園

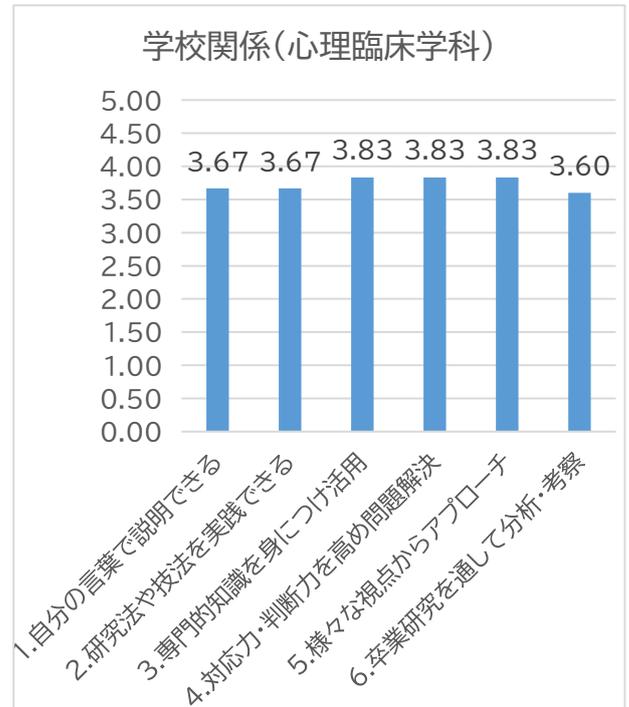
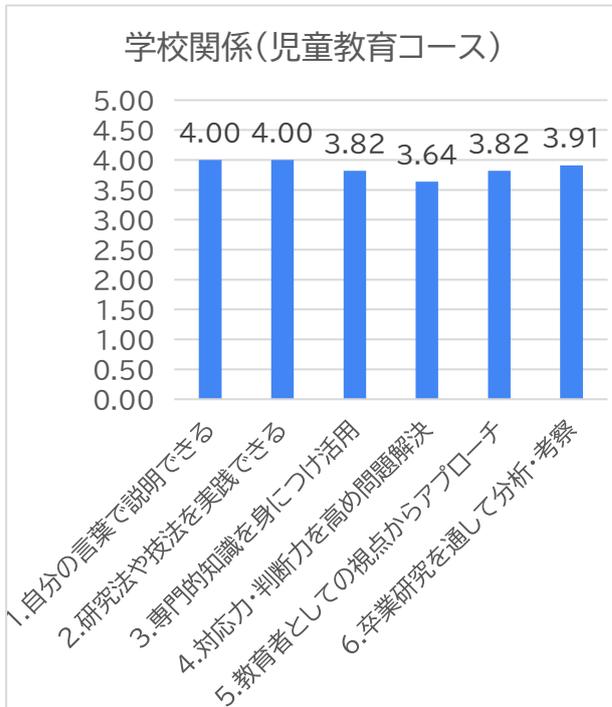
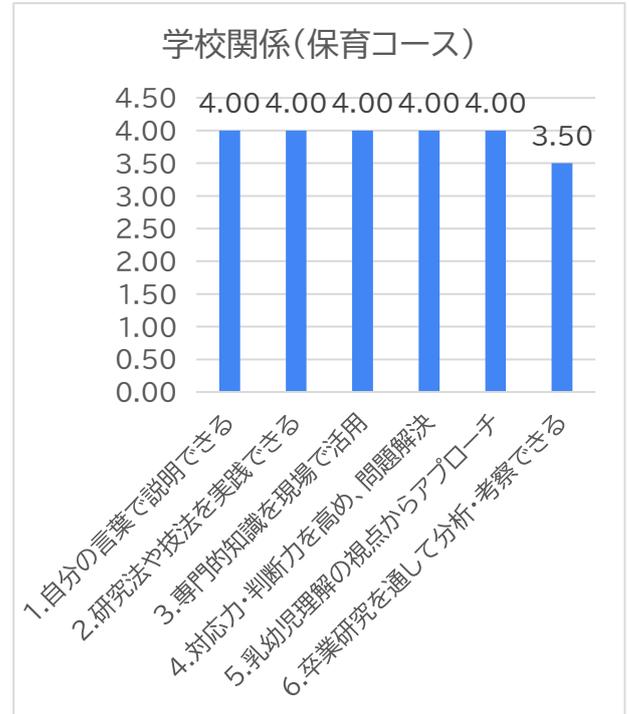
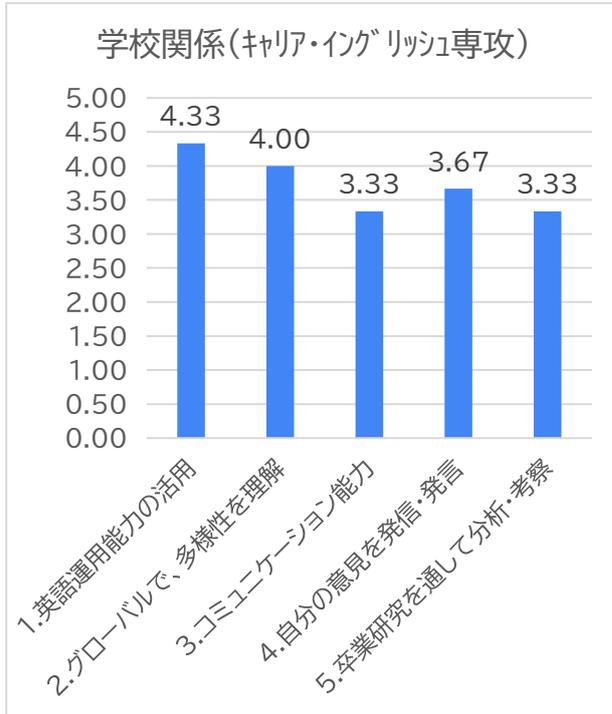


(3)【小・中学校、支援学校等】

勤務する本学卒業生数

(キャリア・イングリッシュ専攻、保育コース、児童教育コース、心理臨床学科)

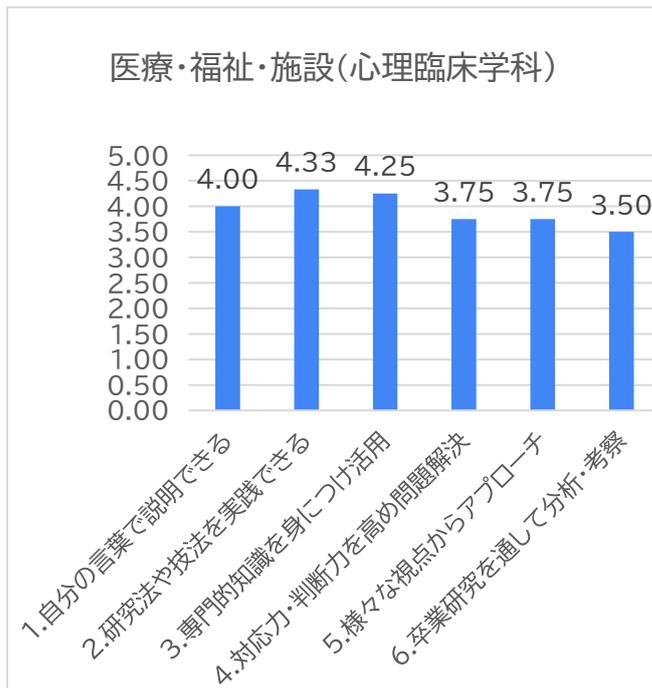
0名…1校 1～4名…14校 5～10名…2校 合計17校



(4)【医療・福祉・病院】

勤務する本学卒業生数(心理臨床学科)

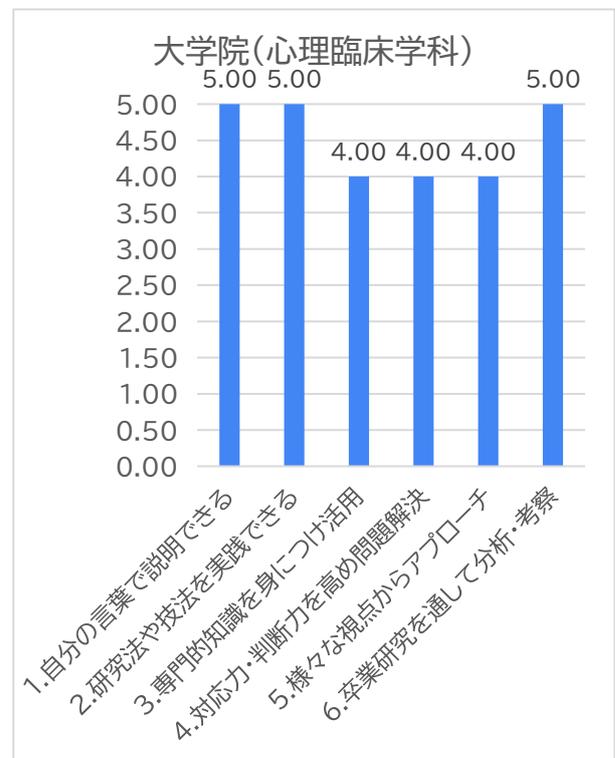
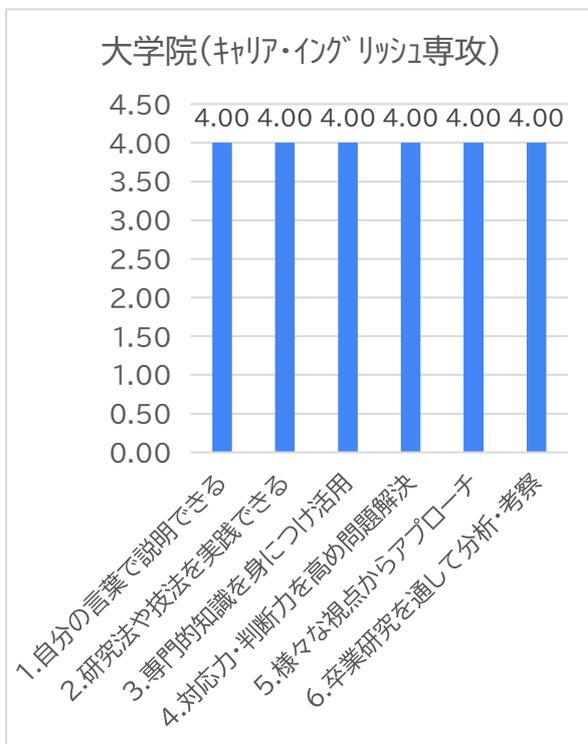
1~4名...5社 5~10名...1社 合計6社



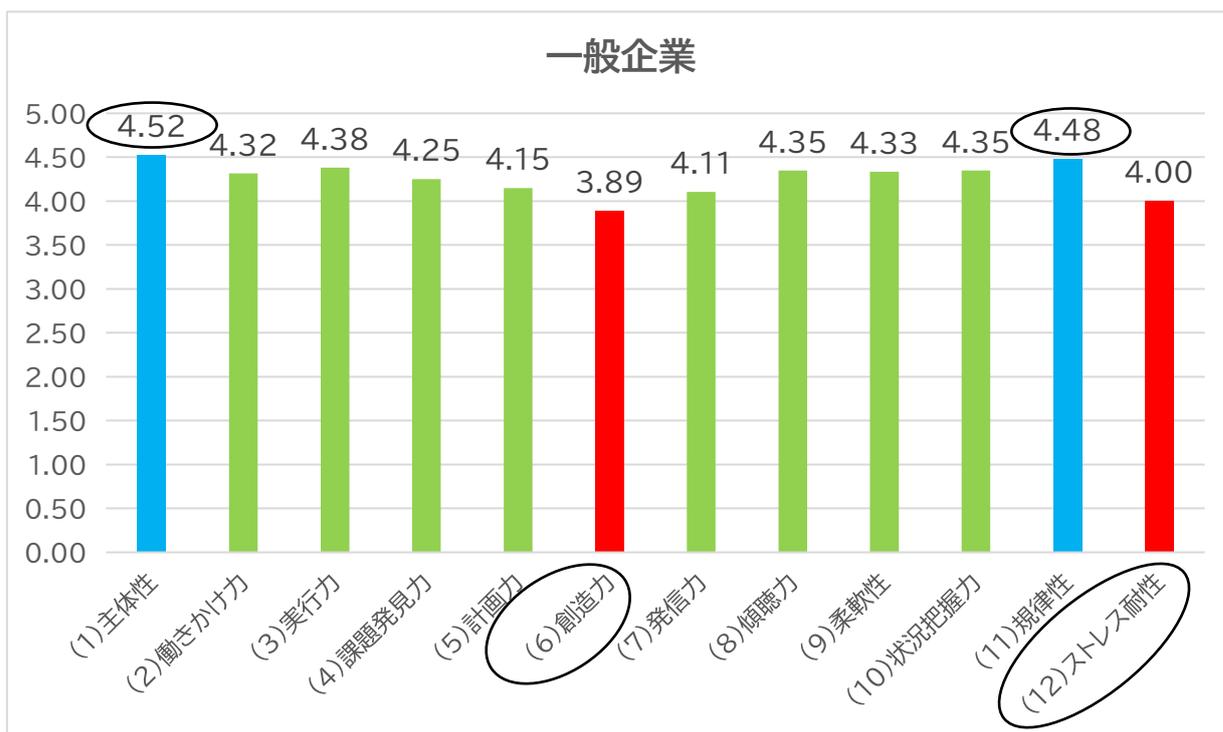
(5)【大学院】

勤務する本学卒業生数(キャリア・イングリッシュ専攻、心理臨床学科)

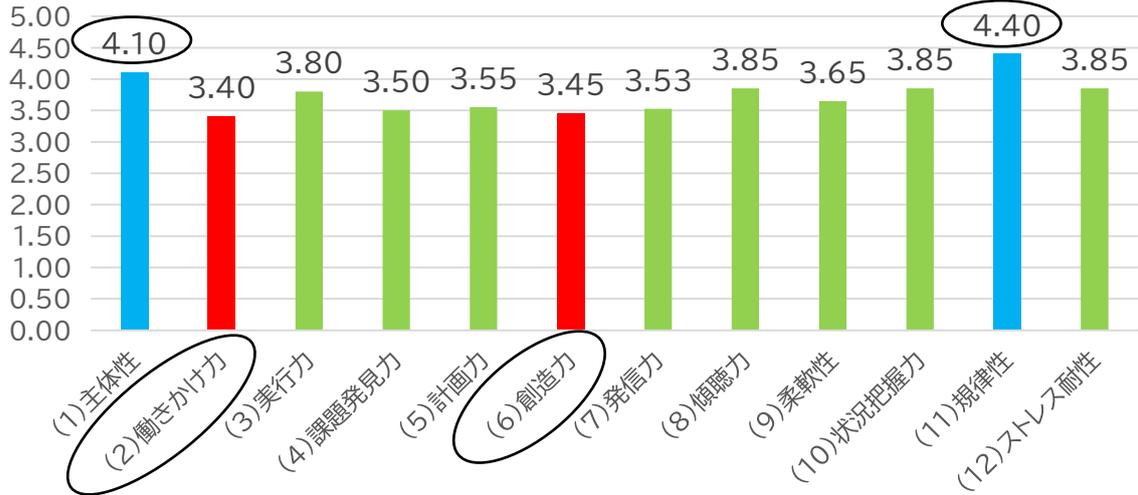
1~4名...2校 合計2校



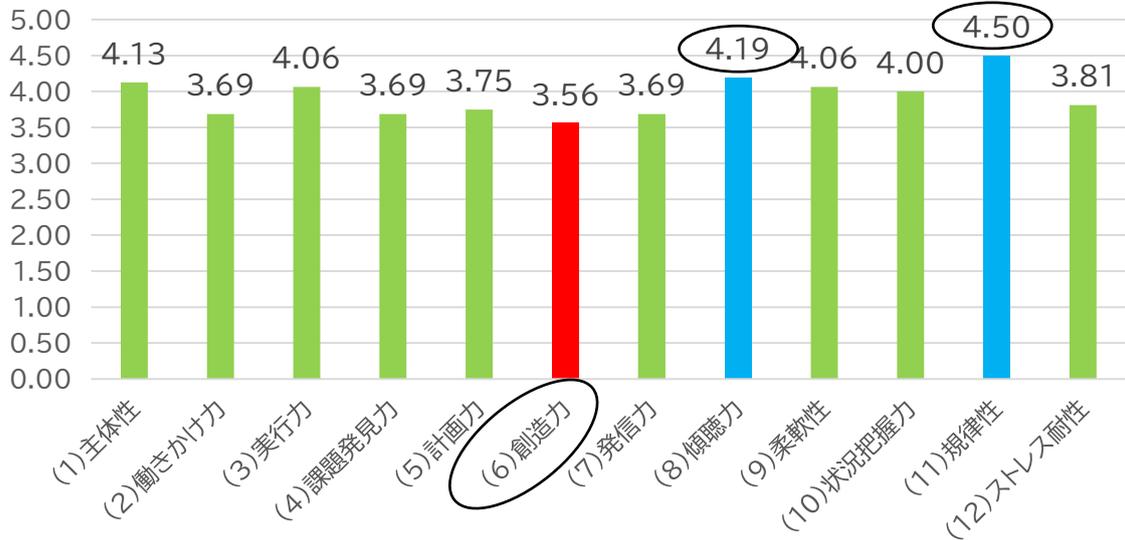
Q6 社会人基礎力をどの程度身につけているか



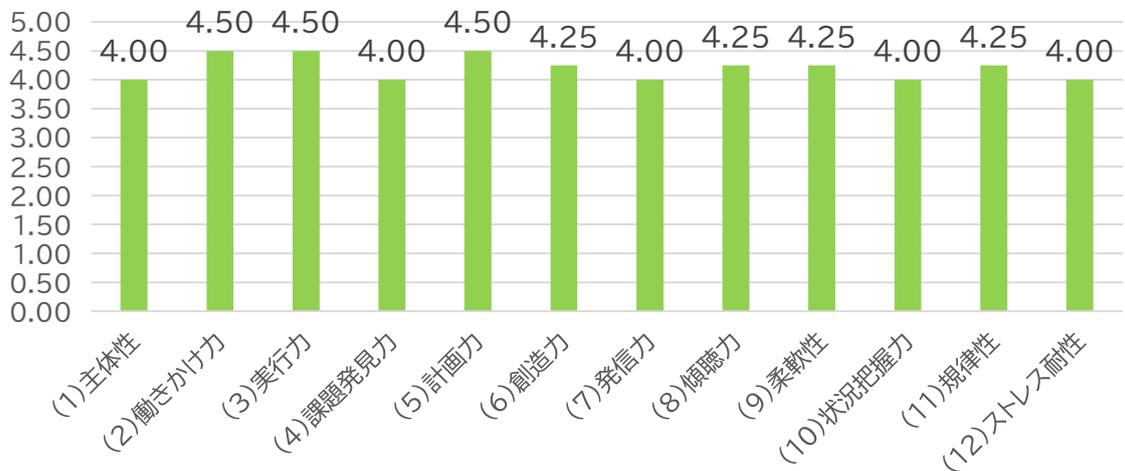
幼稚園・保育園

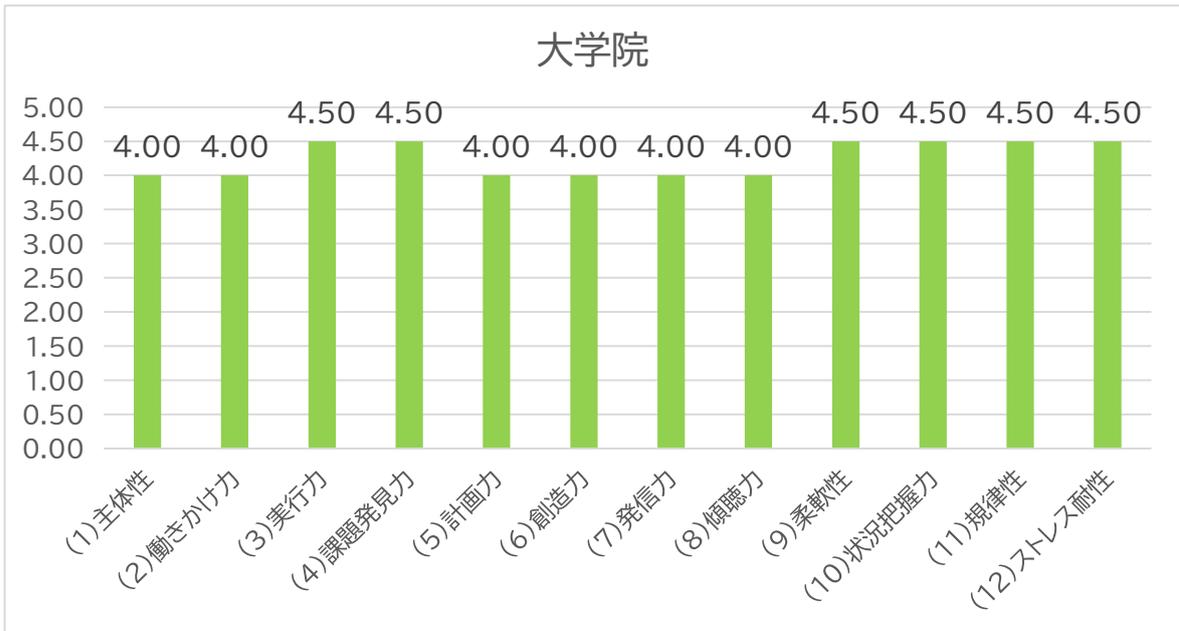


学校関係



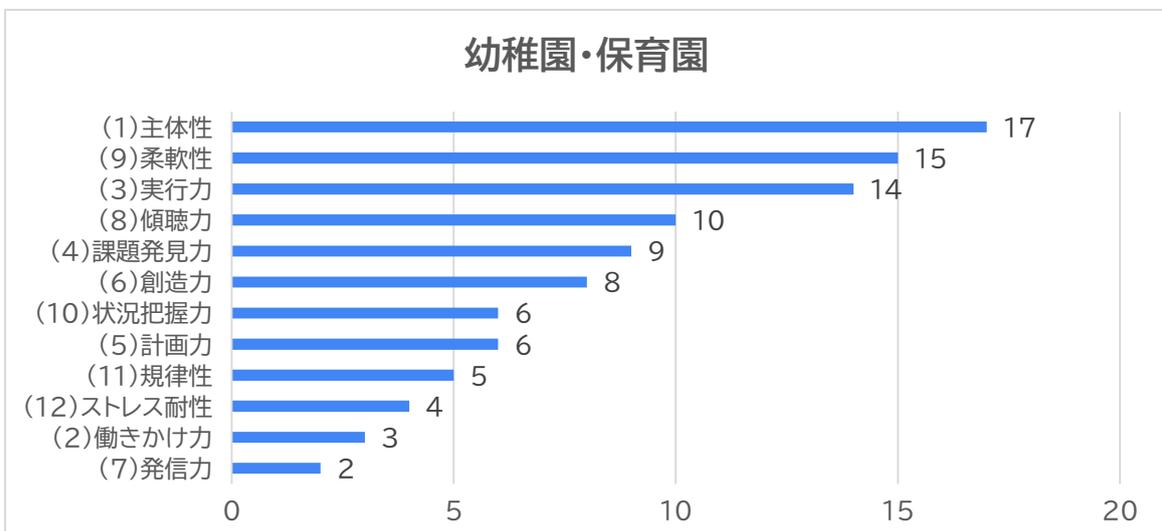
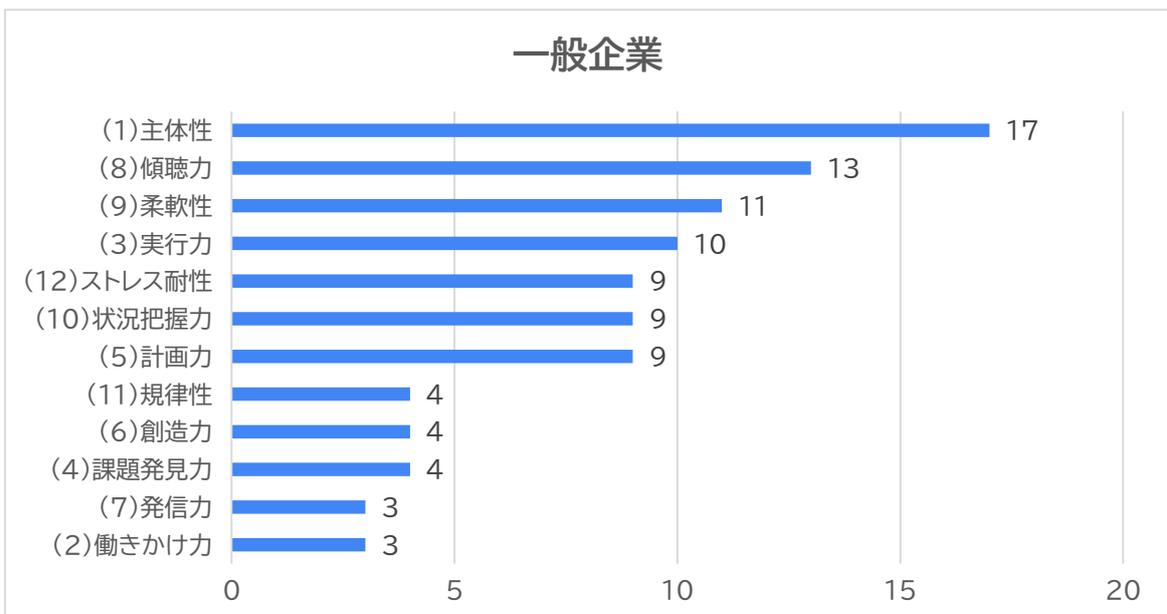
医療・福祉・施設



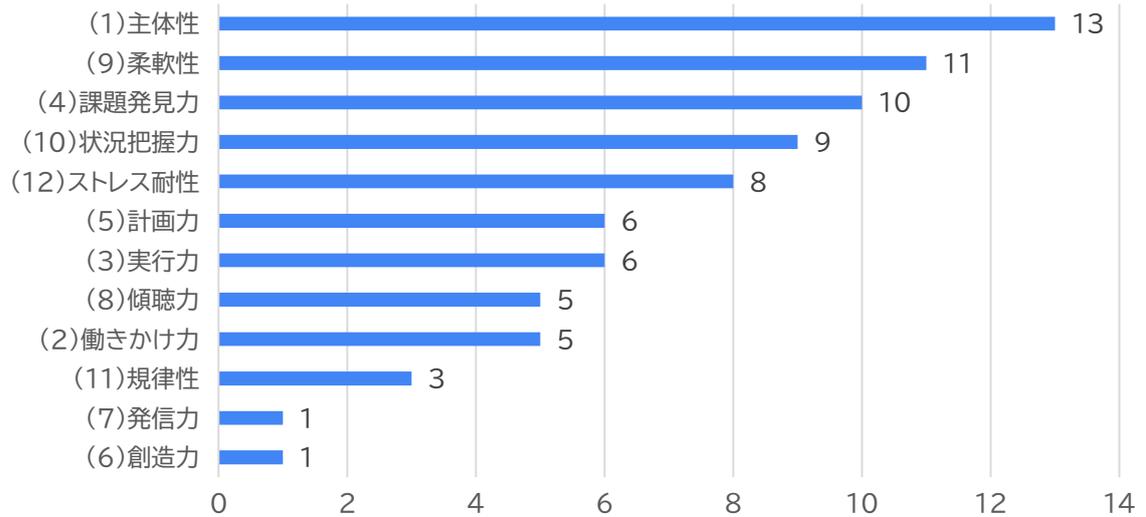


Q7 貴社・貴団体にとって必要と思われる能力・資質

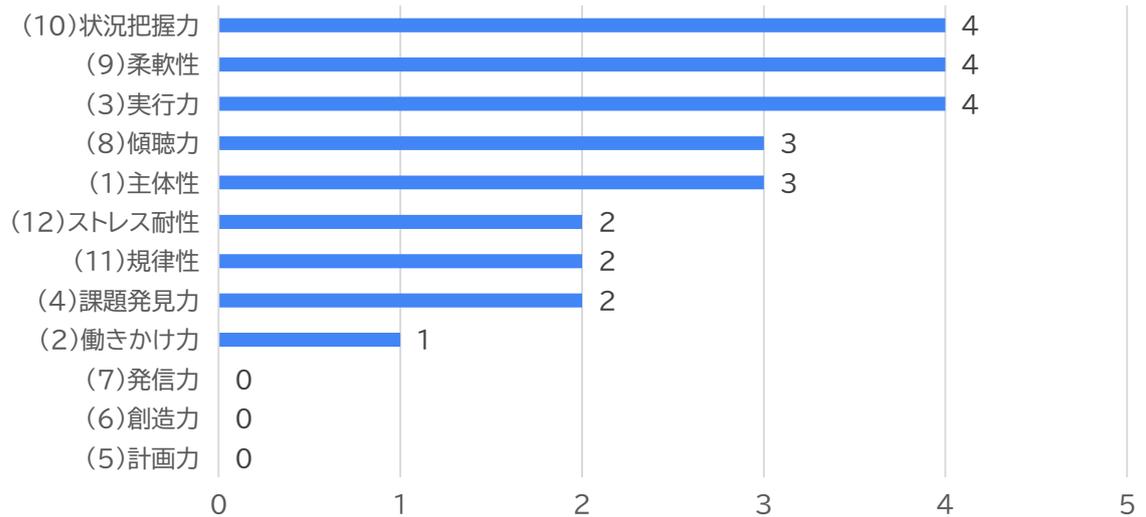
(各社 5 つの能力を選択、回答数が多い順に記載)



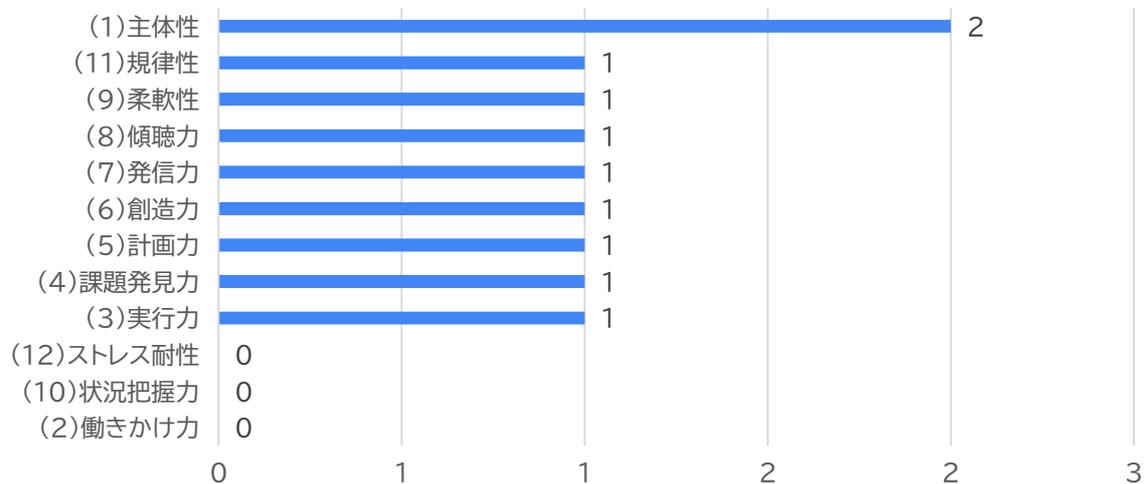
学校関係



医療・福祉・施設



大学院



Q8 12 の能力以外に、学生時代に身につけてほしい力

(1)【一般企業】

- ・PC スキル、自ら考えて行動できる力
- ・語学力やコミュニケーション能力です。
- ・コミュニケーション
- ・積極性、責任感
- ・多くの人と接する
- ・瞬発力(瞬時に物事ごと判断する)
- ・目標をかけた、突き進む力を持っている。既存の枠にとらわれず未来を切り開いていける。
- ・基本的には接客に必要なコミュニケーション能力です。
- ・対人対応力

(2)【保育園・幼稚園】

- ・思いっきり笑える事、協調性、広い意味での社会性
- ・協調性、自己投影能力
- ・文章力 言語力
- ・持続性
- ・”仕事が始まれば、社会人としての資質をどうこう言ってる場合ではないので、基本的な人間性についてのレベルは確実に担保していただきたい。専門性については大学で基礎を学んだ上に、臨機応変に対応するべき実践があるので、柔軟な考え方ができれば各園での保育方針に向けて成長できるのではないかと思う。”
- ・「謙虚さ」「素直さ」「誠実さ」「協調・協働性」「ありのままを受け止める姿勢」
- ・主体的に問題を考え、周囲と協力しながら解決する力
- ・コミュニケーション能力(あらゆる世代と)
- ・幼稚園の保育者は、子ども一人一人を大切にするという点では同じですが、色々なアプローチの仕方、考え方があります。それをきちんと誠実に受け止めていく柔軟性がとても大事だと思います。常に前向きに成長していく保育者であるためには、互いをリスペクト(尊重)しあう謙虚な姿勢がいつも必要だと考えます。10年、20年、30年のベテランであっても、それは同じです。
- ・他人の気持ちをどれだけ自分に置き換えて考えることができるかや、コミュニケーション能力です。

(3)【小・中学校、支援学校等】

- ・コミュニケーション能力、手話力
- ・大学時代に多様な体験や経験、多くの人との交流をしておいてほしい。
- ・他人の話を聴く力と性格
- ・探究心
- ・課題や困難に向けて立ち向かう力。その時周りと協力してよい方向性を生み出す力。

(4)【医療・福祉・病院】

- ・指示待ちにならない姿勢
- ・最低限の社会的なマナー

Q9 本学の学生のどのような点を評価して採用していただいたのか

(1)【一般企業】

- ・素直さ、課題に対して真摯に向き合う実行する能力
- ・主体的に自ら考えて行動できる点
- ・語学力の高さや、接客向きのお人柄を評価させていただきました。
- ・面接を実施させていただいた上総合的の判断させていただきました。
- ・主体性
- ・コミュニケーション力、明るさ、英語力
- ・責任感、規律性
- ・実直
- ・行動力の高さや目標達成意欲の高さなどが見受けられたためです。
- ・素直さ、明るさ、お客様のお肌をよくしたいと思う心

(2)【保育園・幼稚園】

- ・個性の豊かさ、伸びしろ
- ・明朗快活で、真面目だったこと。芯が強いこと。
- ・人柄 協調性 謙虚さ
- ・人間性
- ・基礎的な部分がしっかり学んできていると感じたから
- ・幼稚園教諭免許一種、特別支援教諭免許一種を持っている点
- ・幼児教育に対する真剣さと意欲に期待して
- ・実習時の態度から、強く推薦しました。(この意見が採用決定者に届いているかはわかりませんが。)
- ・基礎的な学力、教養が身につけている
- ・子ども一人一人へのあたたかいまなざしを持っておられます。特別支援のお子さんのことをきちんと学んでこられるので安心です。自分のクラスさえ良ければという方はこれまでお会いしたことがないです。良い学生さんに就職していただいて感謝しております。
- ・控えめな印象の中に、自分の考えをしっかりと持ち、周りの人と対話することができる人だと感じました。

(3)【小・中学校、支援学校等】

- ・ひたむきに仕事に打ち込むところ
- ・真面目で真摯に業務を遂行できる
- ・素直に学ぼうとする力。ひたむきに努力する姿。人を大切にする姿。

(4)【医療・福祉・病院】

- ・素直で真面目そうな所
- ・実習に取り組む姿勢・実習中の評価
- ・真面目さと誠実さ
- ・コースは同じでも採用職種(PSW、CP、Ns)が違うので一括りにはできないが、概ね学ぶ姿勢は身につけている。

(5)【大学院】

- ・探究心、知的能力、積極性等、全てにおいて良い資質を有していること。

Q10 本学について、卒業生にどのようなイメージをお持ちなのか

(1)【一般企業】

- ・”非常に素直で伸びしろがあると感じています。組織や上司次第でいかようにも化ける(いい意味です)ことができ、会社でも代表的な仕事を任せていることから毎年採用していきたいと心から思える学校の一つだと感じています。”
- ・コミュニケーション能力が高く、明るく朗らかな学生様が多い印象でございます。
- ・非常に積極性が高く、誠実な学生の印象を抱いております。今後もそのような学生様と接点を持つことが出来ましたら幸いです。今後ともよろしく願いいたします。
- ・社会人としてのビジョンをしっかりと持っている印象があります。。
- ・素直で一生懸命な学生が多くいらっしゃるように思います。
- ・真面目にコツコツと努力できる人材
- ・個性をもった方がいる印象
- ・複数名ご入社いただいておりますが、みなさん活躍が期待できる人財だと感じております。
- ・自ら発信し行動できる非常に優秀な社員です。

(2)【保育園・幼稚園】

- ・明るく積極性がある
- ・勤務態度がまじめで、素直に人の話を聞くことができる
- ・学校から大切にされているイメージがある。
- ・2人採用しているが、差があり、回答しにくかった。すみません。
- ・一生懸命で、人柄も良く、これからも期待しています。
- ・素直で真面目
- ・4年間丁寧に指導を受けている印象。個人の性格もあるのでひと括りにはできないが、園でじっくり見て声をかけて共に学んでいけば、それほど心配せずにクラス運営ができていく印象。
- ・”専門的な知識や技術の習得ができており教育に対する理想が高い。一方で、子どもを指導する気持ちが強く、子どもに対して厳しいと感じることがある。”
- ・”うちに採用されている職員を見て思うのは、とにかく真面目だということです。これは美德だと思っておりますが、これからは、色々な経験をしてそれを発揮できるとなおいと思います。良識と個性のバランスの取れた人材の育成をお願いします。”

- ・キリスト教の基盤がある
- ・真面目、誠意
- ・人それぞれに個性があると思うので、全体的なイメージを問われるのは難しいです
- ・すごく器用で何でもそつなくこなすというよりは、時間がかかっても丁寧に一生懸命取り組むというイメージです。
- ・保育に大事なところ、大切な部分を先生方が学生さんに伝えてくださっている、誠実さを感じます。

(3)【小・中学校、支援学校等】

- ・素直で、明るく、前向きに職務に取り組む
- ・該当教諭を見ていると、大学生の期間に、学生の本分である学習にしっかりと取り組んでいたが、専門分野の研究においても各自の能力を引き出していただける学校だと考えています。誠実で勤勉である。
- ・現在、観察実習生が来ていますが、卒業生ともども好印象を持っています。
- ・笑顔で子供に接し、仕事ぶりも熱心である。
- ・目の前の子どもたちを大切にできる方ばかりだと思っています
- ・真面目な学生が多いように思います。
- ・品格があり、生涯学ぶ姿。心豊かなイメージ。
- ・”子どもたちのために一生懸命日々取り組んでくれています。今後さらに教師として成長してくれることを期待しています。”
- ・教員として使命感、教育的愛情をしっかり持って現場に来ている教員もいるが、個人差を感じる時もある。

(4)【医療・福祉・病院】

- ・全体的に真面目な印象があります
- ・学生で身に付けていただきたい知識や考え、社会的マナーが備わっている。

(5)【大学院】

- ・全人格的な指導がなされている。

*雇用先アンケートに対する各学科、専攻からの所感

キャリア・イングリッシュ専攻

キャリア・イングリッシュ専攻の教育を通して「卒業時に身につけてほしい能力」は、一般企業では「概ね身につけている」と評価されているが、教職においては、特に「コミュニケーション能力」及び「分析・考察力」に課題があるため、対策が必要だ。また、「自分の意見を発信・発言する力」に関しても、授業内で取り組むことが必要だと思われる。逆に昨年度評価が少し下がっていた「グローバルな視野と多様性」については「概ね身に付いている」と評価された。

企業が求める能力として「創造力」及び「発信力」が最も低い値となっており、学生が主体となる参加型の授業や、課題解決につながる学びを増やす必要があると読み取れるため、専攻内で対策を考えていきたい。

保育コース

保育コースの学生の学びを現場が前向きに受け止めてくれていることを嬉しく思う。4年間の学びでは、子どもへの基本的な知識に加え、専門性、キリスト教保育を通じた優しさを大事にしている。従って、希望が叶って就職できたことの喜びは大きく、その活躍ぶりが見える回答を肯定的に受け止めたいと思う。

今後の課題は、専門職として長い時間をかけながら、保育の働き甲斐や希望を持ち、自己研鑽できることである。そのためには、周囲の保育者や卒業後の教職員の温かなまなざしが重要になるということが読み取れた。

児童教育コース

アンケート結果から読み取れたこととしては、本学卒業生はある程度の主体性と柔軟性を身に付けることができおり、真面目で真摯に業務が遂行できているとして評価を得ているようである。しかし、課題や困難に向けて立ち向かう力や周りとの協力して良い方向性を生み出す力等が不足しており、そのことから雇用先(学校)から大学時代に多様な体験や経験、多くの人との交流をしてほしいとの指摘を頂いている。

今後は、教育現場の期待に応えられるように各自が創造力を発揮して、学生が自分の言葉で説明できる力や論理的思考力並びに発信力を高め、様々な課題に直面した際に現状を分析してチーム・アプローチができる力の育成に注力する必要があると考える。

心理臨床学科

身に付けておく社会人基礎力について、これまでも指摘されてきていることだが、規律性を高く評価された。本学の学生が社会の中で十分に通用する力として誇ることができるだろう。また、主体性が高く評価された反面、創造力は低い評価であった。独創的な新しいアイデアを生み出す力が不足しており、今後この力を引き出す大学教育が課題となる。

心理臨床学科ではストレスや学生が自らのストレス対処能力を獲得することを目指しているが、ストレス耐性が低い評価であった為、学びを活用できるようにすることが求められる。心理臨床学科の6つのアドミッション・ポリシーについて、「卒業研究を通し分析・研究する」が最も低かった。新人として求められることはあまりないようにも思えるが、少なくとも医療・福祉分野では研修会や学会発表等の機会があり、他専門職との協働を見据え、仕事で求められる能力とマッチしていくような指導の工夫が必要であろう。